

卒業生メッセージ



房間 未来さん

セキスイハイム東北株式会社 本社



高校卒業後、盛岡短期大学部に入学しました。祖母の介護をする母を近くで見ており、介護負担軽減のための環境づくりに関心があったことが入学のきっかけでした。短大ではバリアフリーやユニバーサルデザインなどが快適に過ごせる環境づくりを建築の視点で学びました。学びを進める中で、心的・法的などソフト面の介護負担軽減策にも関心が芽生え、編入学を決めました。

編入学後、講義数こそ多かったのですが、短大とは違った分野の講義を受けることができ毎日が充実していました。特に現場実習では実際に利用者様と触れ、社会福祉士として自分にできることを考え、行動した時間は学びの多い時間でした。就職活動では、建築と福祉の知識を活かしたいと様々な企業を検討。活動中悩んだこともありましたが、同じキャンパスに相談できる先生が建築と福祉、分野を超えていらっしゃることは私の中でとても心の支えになりました。

卒業後は住宅メーカーに就職し、2年間営業をし、現在は住宅づくりの情報提供をする部署で働いています。一生に一度の大きな買い物をする上で、お客様の抱える不安は大小、分野共に様々です。不安点の他にもその背景などを具体的にうかがい、その上でお客様に寄り添った提案をするよう心がけています。夢のマイホームづくりをサポートする上で、短大で得た建築の知識はもちろん、編入学後に学んだ傾聴の姿勢やアセスメントの知識が活かされていると日々痛感しています。



秩父 祐季さん

JA秋田厚生連 大曲厚生医療センター



高校卒業後、専門学校へ進学し介護福祉士を取得しました。専門学校在学中に身内から介護について何度か相談されることがあり、支援により人と福祉を繋げる仕事ができたら...と考えるようになったのが編入学を考えさせたきっかけでした。

編入学後は専門・資格科目だけではなく、一般科目(特に英語)もあり履修科目が人よりも多く不安でしたが、同級生や先生方の支えもあり、無事乗り越えることができました。講義では演習と実習が特に印象に残っており、「自分だったらどのように関わるのか」ということを意識していたことを覚えています。私はサークル活動やアルバイトも時々行なっていたため、学生生活は忙しくもありましたが充実した2年間でした。

大学卒業後は地元医療機関の相談員(MSW)として就職しました。ソーシャルワーク実習先の方々と連携することもあり、卒業後も人とのつながりを日々感じています。相談内容は幅が広く、多くの知識を求められるため毎日が勉強です。支援についてどうしたらいいのか悩むことも多いですが、ケースを通じて様々な経験ができ、社会福祉士として自分の成長を感じられる仕事です。

勉強は勿論大切ですが、学生時代に頑張ったことや経験したことは大きな力、魅力となります。編入の2年間はあっという間ですが、岩手県立大学で「なりたい自分」を探して、自分の可能性を広げてください。